

平成28年度県立学校版環境ISO取組の概要報告

1. はじめに・・・

本校における環境教育の目標として「環境意識の段階的な向上」を掲げている。具体的には、環境に関する情報に接する機会を設け正確な知識を得ること。環境改善活動へ理解を持った上で積極的に参加できる姿勢を身につけること。自ら計画・発案し、それらを実行に移すことができる行動力を発揮できること。これらを大きなテーマとして活動を計画した。また、熊本地震という大きな災害の体験から、自然災害のメカニズムについても目を向けて環境教育のあり方を考えた。

2. 宣言項目



3. 行動(Action)・記録(Record)・見直し(Check)

Step 1 ~環境意識の向上~

- 環境教育講演会
- 情報紙(エコだより)の発行

Action Pickup

【環境教育講演会】

期日：平成28年9月7日(水)

演題「自然災害と心得」

場所：本校体育館

講師：環境教育アドバイザー 池辺 伸一郎 様

Record

昨年4月に発生した熊本地震では、本校の生徒・職員においても被害状況に差はあるが多くの衝撃を受けた。また、突発的な災害時には恐怖や動揺から、どのように行動すれば良いかわからず混乱をしてしまう。そこで本年度は、地震の専門的知識が深い阿蘇火山博物館館長の池辺先生より「自然災害と心得」を演題にして、ご講演いただいた。地震だけでなく自然災害全般のメカニズムや緊急時の対処法について学ぶことができた。

Check

地震等の自然災害も環境問題の1つとして捉えること。そして、緊急時に正しい行動をするためには、知識を身につけておく事が必要と考え計画をした。生徒達は身近に起きた出来事がテーマという事もあり集中して講演を聞き、講演後の感想文からもそれを察することができた。また、感想文の一部を、池辺先生にお礼文と共に送付したところ、「講演の意図を理解していただきありがたい」という言葉をいただいた。次年度も生徒達に必要な事や伝えたい事を明確にして企画していきたい。

Step 2

～省エネ活動の推進～

- ライトダウン活動
- エコキャップ活動
- 校内外清掃活動
- 校内緑化活動

Action

- ライトダウン活動 …… 美化委員会でポスター作成による全校生徒への呼びかけ活動
- 校内緑化活動 …… 季節ごとに校内花壇への花の植え替え作業。
- エコキャップ活動 …… 美化委員会によるクラスへの活動協力依頼。収集、送付等の自発的活動
- 商工サマーアクション… 全校生徒による清掃活動。校内の除草作業(1、2年生)学校周辺の清掃活動(3年生)

Record

【ライトダウン活動】

美化委員会(節電活動班)により、節電・節水の呼びかけポスターを作成し各クラスへ掲示を行った。(図1参照) 過去5年間減少傾向にあった電力使用量が、本年度は増加していた(約5%)。月別データと比較すると、7月～9月の3ヶ月間が特に増加しており、この間については、エアコン使用によるものであることが考察される。過去7年間の年間電気使用量(平均)の推移を下図2のグラフとしてまとめた。

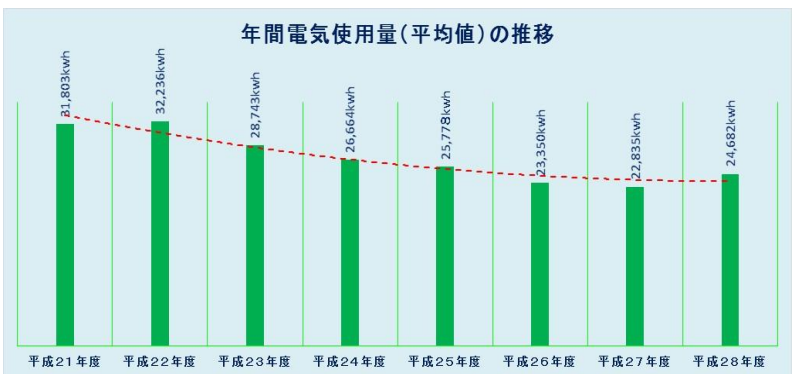
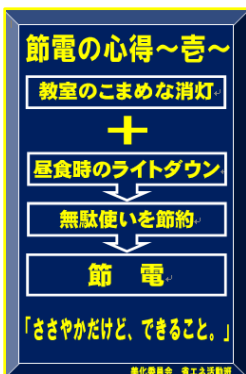


図1 節電・節水呼びかけポスター

図2 年間平均電気使用量の推移

Check

ここ数年と比較すると、電気使用量(平均)は増加しているが、猛暑の影響と夏休み期間中には就職試験等を控えた3年生の多くが、ほぼ毎日登校し勉強に励んでおり、教室内のエアコンの稼働率が上がったことが考えられる。ただし、これについては生徒達の希望実現に必要なエネルギーであると判断している。これを踏まえて、過去7年間のデータを振り返ると、昨年・一昨年あたりの電気使用量が最少ラインと判断して良いと思う。今後の省エネ活動の課題として必要な所では使用しつつも、学校生活における無駄な点を見つめ直し現状のラインをキープしていくことが課題として挙げられる。

Record

【校内緑化活動】

季節ごとに校内花壇への花の植え替えを行い校内環境の整備をした。本年度は、春・秋・冬と3度実施。生徒部の予算から購入費用を捻出していただき、近隣のホームセンターで購入している。活動の頻度は多くないが、集合から活動と生徒達を中心に協力して実施することができた。また、作業の様子を見ていた生徒達も積極的に手伝いに参加してくれるなど、多くの生徒が活動へも協力的である。

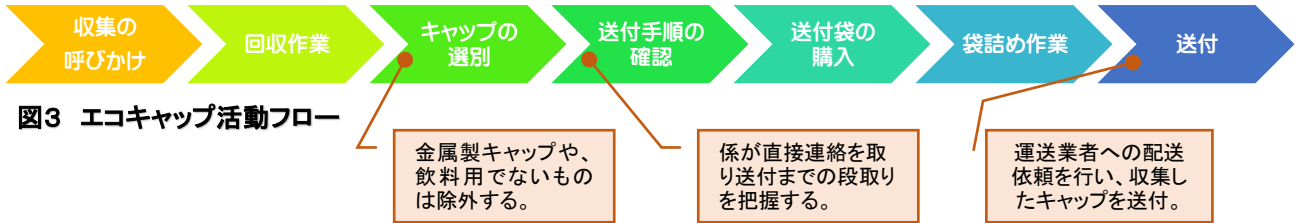
Check

現在ホームセンターより購入している花の苗を、近隣校である鹿本農業高校さんと年度当初に契約を結ぶなどの学校間交流を検討中。また、その活動の中心を生徒達に任せて進めていけたらと考えている。そのために、係となる生徒には事前の打ち合わせや購入予算の検討などの事前準備を年度の早期段階で活動頻度を上げて実施していきたい。

Record

【エコキャップ活動】

美化委員(ボランティア活動班)の取組として、ペットボトルキャップ収集の呼びかけ、回収から送付までの一連の流れを係の生徒を中心として実施している。(図3参照) 本年度、約 10,000 個が収集できており数回に分けての送付を計画している。取り組み自体は学校全体に浸透してきており活動には協力的である。



Check

本年度は美化委員会で呼びかけから送付までを、できる限り生徒達主体となって取り組ませることができた。

- ①NPO(特定非営利活動法人)全国障害者福祉援護協会への電話連絡。
- ②キャップの選別法や送付までの手順を伺う。
- ③送付用袋の購入と袋詰め作業。
- ④運送業者への引き取り依頼。

一連の流れを生徒達が主体となって実施することで、何を、いつまでに、どのようにして行うのかを逆算して考えるという計画性を学ばせることができた。今後は、本年度の活動の記録を資料としてまとめ、次年度以降の参考とし、本年度同様に生徒達の主体的な活動としていきたい。

Record

【校内外清掃活動】

平成28年7月4日(月)の5、6限目に実施。

3年生及び菊池支援学校高等部山鹿分教室の生徒は、校外清掃作業を実施。学校周辺約2Kmの5つのコースに分かれる。準備事項として、コースの調査及び道路使用許可の申請が必要である。

1、2年生は校内の除草作業を行う。クラス単位で作業範囲を割り当て、必要に応じた作業用具を委員会で事前に準備しておく。

Check

学校行事として定着しており、菊池支援学校高等部山鹿分教室からも行事に参加していただき、学校間交流もできている。取組の様子も年々向上しており協力体制や意識の高まりを感じる点が多々見受けられる。さらに本年度、特に感じたことは後片付けの素晴らしさであった。毎年、返却時には、数量の不足する物、他の場所へ移動している用具があるが、本年度はすべてのクラスが整理整頓された状態で返却されており、その後の作業が非常にスムーズだった。今後の課題として以下の3点を検討して行きたい。

- ①実施時期
- ②除草作業における、生徒数と作業範囲のバランス
- ③校外清掃活動における、ルートの確認

~Photography~



step 3

～専門性を活かす取組～

- 技術ボランティア
- 電動モビリティ



【技術ボランティア】

校内エアコンフィルターの清掃作業(夏期・冬期)

Record

【夏期】

実施者:電気科3年生

時間:課題研究

作業:清掃及び洗浄

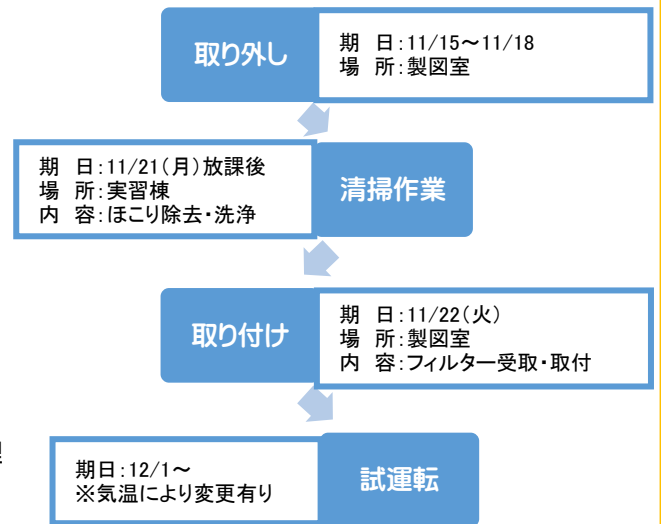
【冬期】

実施者:美化委員

時間:放課後

作業:清掃及び洗浄

冬期は作業計画を右フローのように立て学校行事等を考慮しながら日程調整と活動日を決め作業の流れを理解しやすいようにして、活動を行った。



Check

エアコンを使用する時期は決まっており、行事計画などを考慮して早めに活動の計画を立てることが可能。したがって、夏期・冬期共に使用開始日に合わせて逆算し、しっかりとした作業計画によるスムーズな流れを作り上げていく必要がある。また、本年度をもって本校の電気科が閉科になってしまうため、本年度まで課題研究で実施してきた活動であるが、委員会の仕事として引き継いでいきたい。

step 4

～生涯を通した環境意識の構築～

学校では、清掃活動や省エネ活動といったエコロジーをテーマとした取り組みが大半である。しかし、本年度発生した熊本地震のように自然災害も環境が引き起こす問題であることを、私達は多くの被害と共に身をもって体験した。家屋の倒壊・車中泊・電気・水道の使えない日々、当たり前とされていることができないことのつらさや日常への感謝の気持ち、これらは決して忘れてはならない事である。これからは、些細な環境の変化へも目を向ける感性を磨きつつ、突如として発生する災害への対処法や心の準備をしておくことが大切である。そのために、生徒達にとって今何が必要なのかを考え1つ1つの活動に意味を持たせて、それを伝えていきたい。

14. まとめ

昨年度のテーマとして挙げていた「感性を高める」ことは、昨年4月に発生した熊本地震からも、その重要性に改めて気付かされた。今後も様々な環境の変化により、いつ・どこで・どんな自然災害が発生するかわからないので、知識を深め緊急時に最善の行動がとれるよう対処法についても身につけさせていきたい。また、反省点として挙げていた委員会活動の活発化については、生徒達を中心とした活動の基盤ができつつある状況であるため今後も継続してサポートしていきたい。最後に、環境教育を通した生徒達の心身の成長を見つめ肌で感じる事ができるよう、それぞれの取り組みの深化に努めていきたい。